

平成25年度 資源循環技術・システム表彰 募集案内

本表彰は、廃棄物の発生抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）、再生資源の有効利用（リサイクル）に寄与する、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業や取組を広く公募・表彰し、その奨励・普及を図ることにより、循環ビジネスを振興することを目的としています。

多数の企業・事業団体の皆様のご応募をお待ちしております。

本年度、レアメタルリサイクル賞を新設いたしました。
この賞は、他の賞と異なり、要素技術開発、パイロット試験、実証実験段階の取組も対象となります。
レアメタルリサイクル事業や技術・システム開発に率先して取り組んでおられる皆様のご応募をお待ちしております。

〔応募期限は平成25年4月15日（月）必着です。〕

社団法人 産業環境管理協会

この募集案内は、当協会資源・リサイクル促進センター（旧 CJC）ホームページ（<http://www.cjc.or.jp/>）「お知らせ」掲載の『平成25年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』からダウンロード（Word）できます。申請書の様式としてご利用ください。

<目 次>

	頁
募集対象及び応募方法等	
1．募集対象.....	1
2．賞の種類.....	2
3．応募方法.....	3
4．提出及び問い合わせ先.....	4
5．提出期限.....	4
6．審査方法.....	4
7．結果の通知.....	4
8．表彰式.....	4
申請書様式	
【資源循環技術・システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）】	
申請書様式1（再生資源の有効利用事業）.....	7
申請書様式2（使用済み物品の再使用事業）.....	9
申請書様式3（副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業）.....	11
申請書様式4（副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる 技術・装置・システムの開発事業）.....	13
申請書様式5（資源循環型製品の開発・普及事業）.....	15
申請書様式6（申請概要書）.....	17
【レアメタルリサイクル賞】	
申請書様式7（レアメタルリサイクル賞）.....	18
申請書様式8（レアメタルリサイクル賞申請概要書）.....	20
参考資料	
1．資源循環技術・システム表彰受賞事例（平成21～24年度）.....	23
2．申請書の記載例	
【資源循環技術・システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）】	
申請書様式1（再生資源の有効利用事業）.....	27
申請書様式2（使用済み物品の再使用事業）.....	30
申請書様式3（副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業）.....	33
申請書様式4（副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる 技術・装置・システムの開発事業（様式4））.....	37
申請書様式5（資源循環型製品の開発・普及事業）.....	40
【レアメタルリサイクル賞】	
申請書様式7（レアメタルリサイクル賞）.....	43
3．その他	
申請書作成時及び発送時の注意事項（チェックリスト）.....	44

1. 募集対象

(1) 資源・循環技術システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）

廃棄物の発生・排出抑制（リデュース）、使用済み物品の再使用（リユース）又は再生資源有効利用（リサイクル）の促進に資する事業・取組のうち、次の～のいずれかに該当するものとします。
なお、事業所単位・工場単位の応募も可能です。

ただし、大臣賞、局長賞、会長賞は、申請内容について原則3年以上の実績を有すること、過去5年間に環境関連法令に違反していないこと、及び当該事業の実施により環境保全に支障をきたす恐れのないことを要件とします。また、実績3年未満の応募については、奨励賞の対象となります。

再生資源の有効利用事業

使用済み物品や副産物等の廃棄物（有償物も含む。）を自社あるいは他社製品の原材料やエネルギー源として有効利用する事業であり、技術的又はシステム的特点を有し、優れた実績のあるもの

使用済み物品の再使用事業

自社又は他社の製品、部品、容器、梱包等の使用済み物品を再使用する事業であり、技術的又はシステム的特点を有し、優れた実績のあるもの

副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業

生産工程や製法の改良、クローズドシステム（工程内再利用）の採用等によって、事業所における副産物や廃棄物の発生・排出を抑制する、技術的又はシステム的特点を有する優れた取組

副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる技術・装置・システムの開発事業

次に掲げる技術的又はシステム的特点を有し、優れたもの

- ア 自社又は他社の副産物や廃棄物（有償物も含む。）を減量するための技術・装置・システム
- イ 製品の原材料やエネルギー源として有効利用するための技術・装置・システム
- ウ 使用済み物品を再使用するための技術・装置・システムを開発・販売する事業

資源循環型製品の開発・普及事業

ア 省資源化設計（使用材料の削減、小型化等）や長寿命化設計（消耗箇所の修理の容易化、アップグレード対応設計等）等によって廃棄物の発生抑制に配慮した製品を開発するとともに、修理サービス体制の整備等によって当該製品を普及させる、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業

イ 再使用可能部品の使用、分解が容易な構造等によって使用後の再使用・再資源化が容易な製品を開発するとともに、回収システムの構築等によって当該製品を普及させる、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業

その他の事業・取組

上記～の複数の分野にわたる総合的な事業・取組、又は上記～に分類されない、技術的又はシステム的特点を有する優れた事業・取組（応募に当たっては事前に事務局にご相談ください。）

(2) 資源・循環技術システム表彰 レアメタルリサイクル賞

製品に使用されているレアメタルのリサイクルを早期に実現することが期待されている鉱種に関して、経済的な資源循環システムの実現に寄与する優れた取組が対象です。次に掲げる鉱種に該当していれば、要素技術開発から商業的な資源循環事業までのすべての段階の取組が対象となります。

なお、対象鉱種以外は「資源・循環技術システム表彰（レアメタルリサイクル賞以外）」対象です。

対象鉱種：ネオジム、ジスプロシウム、コバルト、タンタル、タングステン

対象段階：要素技術開発、パイロット試験、実証実験、商業的な資源循環事業

2. 賞の種類

(1) 資源循環技術・システム表彰

経済産業大臣賞（交付申請中）

経済産業省産業技術環境局長賞（交付申請中）

社団法人産業環境管理協会会長賞

奨励賞（実績3年未満対象）

レアメタルリサイクル賞

- 補足 -

〔奨励賞に関する補足〕

実績期間が3年に満たない事業についても、新規性が高く、新たなビジネス創出の観点から表彰によりその事業・取組の推進をより一層促進することに寄与すると考えられるものを対象として、奨励賞を設けています。

ア 募集対象

大臣賞、局長賞、会長賞に同じです。

なお、奨励賞を受賞された事業・取組に関して、実績期間が3年を超えた場合には、会長賞以上の賞への応募が可能となります。

イ 応募方法

申請書のタイトルに「資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）」と明記の上、ご申請ください（申請書、申請期限等は、大臣賞、局長賞、会長賞と同じ）。

ウ その他

奨励賞への応募事業については、実績が3年未満の事業を対象にしているため、申請書中、具体的な「実績値」・「取組」・「技術・装置・システムや、開発・販売事業」・「開発・普及事業」を提示できない場合には、「新規性や市場導入可能性が高いこと等」や「市場投入の際の副産物等の発生抑制量（率）が大きいこと等」他に関し、定量的若しくは定性的な数値又は指標等を提示ください。加えて、想定市場を示してください。

〔レアメタルリサイクル賞に関する補足〕

他の賞と異なり、以下の段階のものも対象です。

- ・ 要素技術開発、パイロット試験、実証実験の段階にあるもの

3. 応募方法

以下の要領で申請書を作成し、ご提出ください。

(1) 提出書類、部数等

申請概要書(様式6又は8): 20部

申請書(様式1~5又は7): 正本1部、副本19部(コピー) 計20部(添付資料、参考資料も含む。正本には押印のこと。)

企業概要パンフレット及び直近の決算報告書 : 各1部

電子媒体: Word、Excel等で作成した申請概要書と申請書及び添付資料の電子データをCD-ROMあるいはUSBに入れたもの(PDFは不可。ただし、添付資料、参考資料はPDF可。CD盤面に会社名、団体名をご記入ください。手書き可。)

連絡担当者の名刺: 1枚

(2) 申請書等の様式

申請書は、応募内容の分野に応じ、それぞれ以下の様式を参考にして申請書をご作成ください。また、申請概要書も所定の様式を踏まえご作成下さい。

資源循環技術・システム表彰(レアメタルリサイクル賞以外)

再生資源の有効利用事業 : 様式1(7ページ)

使用済み物品の再使用事業 : 様式2(9ページ)

副産物・廃棄物の発生・排出抑制事業 : 様式3(11ページ)

副産物・廃棄物の減量・再生利用・再使用に係わる : 様式4(13ページ)

技術・装置・システムの開発事業

資源循環型製品の開発・普及事業 : 様式5(15ページ)

その他の事業・取組: どの申請様式を適用すべきかについては事務局にご相談ください。

申請概要書(~ 共通) : 様式6(17ページ)

資源循環技術・システム表彰 レアメタルリサイクル賞

レアメタルリサイクル賞 : 様式7(18ページ)

申請概要書(レアメタルリサイクル賞) : 様式8(20ページ)

各様式は当協会資源・リサイクル促進センター(旧CJC)ホームページ(<http://www.cjc.or.jp/>)「お知らせ」掲載の『平成25年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』からダウンロード(Word)できます。また、申請書本文の記載例(様式1~5、様式7)を添付しておりますので、ご参照ください(27ページ)。

(3) 申請書作成上の留意事項

会社名又は事業所名は正式名称をご記入ください。表彰状等にはこの名称を記載します。

申請書本文は申請する事業の特徴(従来の問題点と改善点)を記載ください。

また、図表を用い判り易い表現で正確に記入してください。難解な用語・特殊な用語には、簡単な説明を付けてください。必要に応じて、図面、写真、製品や装置・システムのカatalog等の補足資料を添付ください。

申請書は鑑(表紙の1枚目)を除いて5~10ページ程度にまとめてください(最大15ページ。

添付資料、参考資料(大きな図、表、特許、パワーポイント等)はこれに限らない。)

申請書(本文含む)及び申請概要書はWord、Excel等で作成ください。

A4版、縦長、横書とし書式は「標準の文字数」を基本とします。

フォントは「MS明朝、10.5pt」を基本とするが、見出し、タイトルはMSゴシック可。

各頁の最下部中央に頁番号を振って下さい(表紙の次のページから1,2,3...)

なお、各申請書様式(表紙、鑑)及び申請概要書様式の中にある説明文(斜字体)は削除ください。

申請書(表紙の1枚目)は片面コピーとし、次ページ以降は両面コピーください。

ファイルの都合上ホッチキス綴じとし、左上隅を綴じるよう(一個所)お願いします。

申請概要書はA4で1~2枚(図を含め)におまとめください。

添付の「申請書本文の記載例」は、あくまでも一つの例ですので、応募内容に応じ記載しやすい

ように変更しても構いません。

申請書作成時及び申請書発送時には44ページのチェックリストでご確認ください。

(4) 連名で申請する場合の注意事項

2社以上の企業・事業団体が連名で申請する場合、所在地・代表者・連絡担当者・連絡先等は、各社各々、申請書の1頁目を個別に作成し、ご記入ください。また、申請書は各社の役割分担が判るように作成ください。

(5) 会社以外の事業団体が申請する場合の注意

協同組合や社団法人等の事業団体が応募する場合、定款又は寄附行為を添付ください。また、団体の性格・事業目的、規模・会員数、認可省庁及び補助金等の有無等の判る資料を添付ください。

(6) 既受賞事業の再応募の取扱

前回受賞時に比較して申請事業内容の拡大・発展が顕著であれば、より上位の賞を目指した応募が可能です。ただし、前回受賞時と同じ賞での再表彰はいたしません。

4. 提出及び問い合わせ先

申請書と申請概要書及び電子媒体等は期日内に下記へご提出くださるようお願い申し上げます。

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号 三井住友銀行神田駅前ビル
社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター
TEL 03(5209)7704 FAX 03(5209)7717
E-mail award2013@jemai.or.jp

なお、申請書の作成方法、内容についてご不明な点あれば、お気軽に問い合わせください。原稿のドラフトをメールでいただければ、必要事項の確認をいたします(提出期限2週間ほど前までにお願いいたします)。

5. 提出期限

平成25年4月15日(月)必着

6. 審査方法

有識者による「審査委員会」にて審査いたします。なお、必要に応じ現地調査及びヒアリングなどを実施いたしますのでご協力をお願い申し上げます。

また、場合によっては、審査委員会にてプレゼンテーションをお願いすることがありますのであらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

7. 結果の通知

審査の結果は文書にてお知らせします(平成25年9月上旬を予定)。

8. 表彰式

表彰式は、平成25年10月(予定)に東京で開催します。

なお、この表彰式に併せ、受賞者の皆様に受賞概要のご紹介(プレゼンテーション)をお願いすることがございますのであらかじめご了承のほどお願い申し上げます。

以上

1 . 資源循環技術・システム表彰 受賞事例 (平成21～24年度)

具体的内容は、当協会資源・リサイクル促進センター（旧CJC）ホームページ
(<http://www.cjc.or.jp/>)「お知らせ」掲載の『平成24年度「資源循環技術・システム表彰」募集について』で閲覧可能) (平成23年度までは旧(財)クリーン・ジャパン・センターが主催。)

□平成24年度(8件、11者)□

経済産業大臣賞：該当なし

経済産業省産業技術環境局長賞

受賞テーマ名	受賞企業名
廃棄物・副産物を有効活用した内装建材(けい酸カルシウム板)の開発	ニチアス株式会社 建材事業本部
超難離解レベル機密書類の抹消・製紙原料へのリサイクルシステム	株式会社大善

社団法人産業環境管理協会 会長賞

ボンベ型イオン交換機によるめっき水洗工程のクロード化システム	株式会社三進製作所
軽量・仮埋戻し材 ecoボール	東京ガス株式会社 株式会社キャプティ
複合機の出荷に使用する循環型包装材	株式会社リコー
防振ゴム金具の樹脂化による防振ゴムの軽量化	株式会社ブリヂストン 化工品直需事業本部

社団法人産業環境管理協会 奨励賞

使用済み印刷用CTP版/PS版のアルミニウムのクローズドリープリサイクル「PLATE to PLATE」システムの構築	富士フイルム株式会社
湿式分級プラントによる高炉徐冷スラグのコンクリート用細骨材開発	新日鐵住金株式会社和歌山製鐵所 日鉄住金鋳化株式会社和歌山事業所 和歌山県コンクリート製品協同組合

□平成23年度(9件、11社)□

経済産業大臣賞

受賞テーマ名	受賞企業名
廃光学ディスクの家電製品への有効利用技術の開発	ソニー株式会社

経済産業省産業技術環境局長賞

市場損傷バンパーから新車のバンパーへのリサイクル	マツダ株式会社 株式会社サタケ 高瀬合成化学株式会社
フィルム片を用いたドライ洗浄技術および装置の開発	株式会社リコー

財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞

建設発生土のリサイクル	環境テクノサービス株式会社
廃石膏ボードの MATERIAL リサイクル事業	株式会社 真人
廃ポリエチレンのリサイクル循環システムの構築	株式会社岩井化成
機密文書の出張細断サービス	ナカバヤシ株式会社
空気入りタイヤにおけるインナーライナーゴム使用量低減	横浜ゴム株式会社 研究本部研究部
自己循環型 MATERIAL リサイクルが可能なバイオプラスチックの開発	シャープ株式会社

奨励賞：該当なし

□平成22年度(17件、21社)□

経済産業大臣賞：該当なし

経済産業省産業技術環境局長賞

受賞テーマ名	受賞企業名
学校給食の廃食器からの高強度磁器食器開発とリサイクルシステムの構築	株式会社 おぎそ 山津製陶株式会社 馬駟鉦産株式会社
電卓外装材への100%リサイクルプラスチックの使用	キヤノンエコロジーインダストリー株式会社 キヤノン電産香港有限公司
「建設副産物発生予測及び削減」支援ツールの開発と推進	清水建設株式会社

財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞

リサイクル材料を使用した保水性インターロッキングブロックの開発	荒木産業株式会社
使用済み加硫ブラダーの再生利用による産業廃棄物削減	横浜ゴム株式会社 平塚製造所
廃ガラスびん及びガラスくずを破碎・エッジレス加工した建設・土木資材の開発	ガラスリソーシング株式会社
グループ全体での廃棄物ゼロ・エミッション活動の推進	株式会社ブリヂストン 環境推進本部
研削盤用クーラント液浄化装置の開発	株式会社 小楠金属工業所
し尿とオガクズを資源循環するバイオトイレの開発	正和電工株式会社
有機系廃棄物を有価品に変える無公害型連続炭化乾留処理装置の開発	広島ガステクノ株式会社
段ボール印刷機におけるインク洗浄廃液削減システムの開発	株式会社 I S O W A
廃棄紙を主原料としたプラスチック原料・製品代替品の開発	株式会社 環境経営総合研究所
環境配慮型半導体デバイス組立技術（MAP法）の開発	三洋半導体株式会社 ハイパーデバイス事業部
ランフラットタイヤ普及に向けた第3世代ランフラットタイヤの開発	株式会社ブリヂストン
2成分形シーリング材用産廃対策容器の開発・普及とリサイクルシステムの構築	横浜ゴム株式会社 工業品販売本部

財団法人クリーン・ジャパン・センター奨励賞

使用済み鉛蓄電池の地域循環リユース事業	兵庫県自動車整備商工組合 株式会社アクト
新規リトレッド事業の普及と廃タイヤ削減の促進	株式会社ブリヂストン 生産財タイヤソリューション事業本部

□平成21年度（19件、23社）□

経済産業大臣賞

受賞テーマ名	受賞企業名
紫外線重合法による工業用粘着テープ製造工程での有機溶剤不使用化	ソニーケミカル&インフォメーションデバイス株式会社 鹿沼事業所

経済産業省産業技術環境局長賞

鶏ふん焼却によるバイオマス発電と資源循環	みやざきバイオマスリサイクル株式会社
「ランプ to ランプ」を目指す蛍光管リサイクル事業	株式会社ジェイ・リライツ
鉄鋼プロセスにおける耐火物のリサイクル技術の開発	新日本製鐵株式会社
ウイスキー樽材を再利用した「ピュアモルトスピーカーシリーズ」の開発・製造、販売の拡大・発展	パイオニア株式会社

財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞

A L C (軽量気泡コンクリート) 廃材のリサイクルシステム	東海工業株式会社
家電回収プラスチックの「ペレタイズレス」リサイクルシステムの開発	パナソニック株式会社 ホームアプライアンス社
石炭灰の道路用資材としての有効利用	株式会社神戸製鋼所
紙おむつリサイクルシステム	トータルケア・システム株式会社
廃ゴム乾留炭化物とゴミ溶融スラグのポーラスアスファルト舗装材への有効利用	鹿島道路株式会社 中四国支店 学校法人鶴学園 広島工業大学工学部都市建設工学科 広島市役所 : Project Club 西川ゴム工業株式会社
A S R (自動車シュレッダーダスト) 再資源化による排出ダストの削減	株式会社エコネコル
自由形状の改良体を構築できる地盤改良 (マルチジェット工法) による建設汚泥の削減	前田建設工業株式会社
脱水ケーキリサイクル装置	株式会社氣工社
間伐材等の有効利用による法面の広葉樹林化事業	有限会社クスベ産業
A フルート段ボールから C フルート段ボールへの転換による廃棄物の発生抑制	レンゴー株式会社
樽生ビールサーバー管理システム「セパレサーバーシステム」	サッポロビール株式会社

財団法人クリーン・ジャパン・センター奨励賞

電子部品キャリアテープくずの紙への再生事業	王子製紙株式会社 ソニーイーエムシーエス株式会社
印刷用 P S 版、C T P 版 生産時の端材アルミニウムのクローズドループリサイクル「P S t o P S」システムの構築	富士フイルム株式会社 吉田南工場
O A ローラ製造工程における間接副資材のリユース化	株式会社ブリヂストン 磐田工場